



編集・発行 公益財団法人 AFS 日本協会 岩手支部
 支 部 長 日 影 倫 久
 事務局 〒020-0045
 岩手県盛岡市盛岡駅西通一丁目7番1号
 県民活動交流センター 受付レターケース番号12
 (公財) AFS 日本協会 岩手支部
 TEL 070-1501-3423
 メール: info-iwate@afs.or.jp
 https://www3.afs.or.jp/tohoku/iwate/
 印 刷 (有)九戸印刷 (久慈市)

AFS いわて

ご挨拶

公益財団法人 AFS 日本協会 岩手支部長 日影倫久

はじめまして！2021年度 AFS 岩手支部支部長の日影倫久です。土日祝日になかなか休みが取れない仕事のため皆さんに頼ることの方が多いかと思いますがどうぞよろしくをお願いします。

私が AFS57 期のメンバーとしてアメリカに旅立ったのが 2010 年 8 月のことでした。10 年以上も前の高校留学を通して学んだことが現在の生活にも大きな影響を与えてくれました。全ての人にとって良い経験になることは間違いないですが考えを押し付ける気持ちはありません。

せん。しかし、高校留学に興味関心のある子供たちが様々な理由で諦めることはとても悲しいです。そのような事がないよう私が高校生の頃助けて頂いたように支部の皆さんと協力してサポートしたいと思います。

2020 年度中は新型コロナウイルスが生活に甚大な影響を与えました。留学中だった生徒や留学を予定していた生徒たちが大変悔しい思いをしました。2021 年度も予定通りに事が進まない事があるかもしれませんが引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和 2 年度受入生

秋架け橋プログラム受入

チップ(コン・グエン・タイ・アン、ベトナム出身)

HS:盛岡白百合学園高校(寮滞在)

サシャ(ラマデヤニ シャイシャ・シャジファ・ナテヤニア、インドネシア出身)

HS:盛岡白百合学園高校(寮滞在)

「2021年度みちのく国際サマーキャンプ」 開催中止のお知らせ

残念ながら今年度のサマーキャンプも、新型コロナウイルス感染症の収束する見通しが立たないこと等の理由から開催中止となりました。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

受入生から皆さんへ

秋架け橋プログラム受入生
盛岡白百合学園高校・ベトナム



チップ
(コン・ゲン・タイ・アン)



名前：コン・ゲン・タイ・アン
 日本へ来てからもう約1ヶ月が経過しました。特に
 のみならず、たくさんの思い出があり、特に
 友達との短いホストファミリーの思い出は
 どれも多くの場所に案内され、多くの興味深
 いことを経験しました。私がここに来た最初の
 日は、新しい生活に慣れるのに多くの困難を
 抱えていました。でも先生方は私を大いに助け
 てくれて、とても感謝しています。周りのみんな
 がとても誠実な気持ちで、ここで二番目の家
 族のように感じます。留学生として日本での交
 流の際にいつも助けられてきた皆さんにとても
 感謝して、心より感謝申し上げます。いつ
 か必ずここに戻り、私の人生をより有意義なも
 のにしてくれる人々に会うつもりです。ありが
 とございました。

秋架け橋プログラム受入生
盛岡白百合学園高校・インドネシア



サシャ (ラマデヤニ シャイシャ・シャシファ・ナテヤニア)



こんにちは、インドネシアのサシャです。岩手県の盛岡に住んでいてこの話で
 ここではたしかの素晴らしい経験を通して成長することができました。
 盛岡はとても快適で、寮や学校の環境がとてもフレンドリーです。
 私は親切な人々に囲まれていました。盛岡で過ごしたのは3ヶ月ほどですが、
 盛岡が家のような気がしました。永遠にここに住みたいという気持ち
 を抱いたこともありました。

盛岡に住んでいる間に言語が日本語化まで、たくさんを学びました。
 初めてここに来たときは、日本語でのコミュニケーションが難しく、
 言葉が通じづらかったです。今は十分に流暢とは言えませんが、
 少しづつ理解できるようになってきました。

平日は学校の寮に住んでいますが、ほぼ毎週末ホストファミリーを
 訪問します。寮生活とホストファミリー生活を体験できたのは、
 私にとって思い出深いことでした。

ここでの日々の活動と文化は密着しているため、毎日にたくさんを
 学ぶことができます。たとえば、挨拶の仕方、食事の作法、
 日本の家を訪ねる祭りの方法、学校での学習システムの仕方など、
 たくさんあります。

学校では、美術部、英語部、バドミントン部など、たくさん部に
 通いました。たくさんを練習を続け、たくさんと友達になりました！

友達と寮で「焼きそば」を作りました。「南部せんべい」や「たんこ」の
 ひいた。特に自分で作った料理を味わうことは、うれしかったです。

盛岡にいたとき、人生で初めて手を触れたりした。
 ついに雪を体験するのは夢のよう。雪は普通のことですが、熱帯に
 住む私にとって、雪を見たり触れたりすることはとても
 思っていたことでした。初めてスキーをし、車やバイクなども
 起き上がろうとしたことは本当に楽しかったです！

ここで出会ったすべての人は本当に私にとって意味があり、出会った
 全員にとっても感謝しています。

ここでの留学期間中ずっと私を支えてくれた AFS 岩手に感謝します。
 特に、いつでもどこでもいつも助けてくれた素直な LP。

私のプライドスクール、私を歓迎してくれてありがとう。
 いつも学校や寮で案内してくれた生方、本当にありがとうございました！

私を支えてくれたすべての私の最愛の友人に感謝します！

私のホストファミリーに感謝します。とても親切で私に愛してくれました！

私はいつも全員を覚えてます。私達が再び会うまであなたを
 恋しく思います。

私の人生で最も貴重な場所である盛岡市でのたくさんの思い出。

私はここに帰ることを約束します！

帰国生より

66期アメリカ派遣 (水沢高校)



コロナウィルスの影響で早期帰国をしましたので、7ヵ月ほどしか現地にいることが出来ませんでした。沢山の友達ができ、様々な文化交流をしました。また、ホストファミリーが、英語の勉強に協力的で沢山の言葉を覚える事ができました。

最後は早期帰国にあわせて、サプライズパーティーをしてくれました。心温まるファミリーと友達に会えた事が幸せです。

留学によって、自己成長をすることが出来ました。今後は、大学へ進学し国際経営学を学びたいと思っています。



会費等の納入ありがとうございました。 ※2018年度より会計期間が1～12月に変わりました。

昨年度(2020年1～12月)も皆様からAFS岩手支部にご支援を頂き、誠にありがとうございました。会費、ご寄付いただいた方々のご芳名を掲載させていただき、ご協力に心から感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

《会費》 中川 玲子 小川 春美 小泉 雅代 日影 倫久 松田 文平 川村 俊幸
 晴山 健二 藤森 正文 藤森 雅子 富田 幸子 諏訪里美子 小室 貴也
 瀧本 忍 松田 彩 橋本 結花 遠藤 濃子

《寄付金》 大畑佳代子 JA全農いわて(ホストファミリー支援米)

会費のお願い 今年度も支部会費のご協力をお願いします。

支部会費：年 3,000円(支部会員)

支部会員(支部員、派遣生保護者、リタニー及び保護者、支部活動に協賛する個人又は団体)

等振込先

ゆうちょ銀行 10190-17982571(普通)
口座名義：(公財)AFS日本協会岩手支部

■ご寄付のお願い■ AFSは国際理解教育を推進しています。10代の高校生をはじめとしたより多くの人々に、異なる文化と接する機会を提供できるよう、AFSの活動にご支援を賜りたくよろしくお願いいたします。

【ご寄付の方法】(公財)AFS日本協会(支部を含む)への寄付はいくらからでもしていただけます。AFS日本協会のホームページから、クレジットカードでの納入もできます。

※詳しくはAFSのホームページをご覧ください。

令和2年度 岩手支部収支報告

収入の部	寄付金	18,000円
	会費	48,000円
	その他の収入	0円
	協会本部より	117,486円
	繰越金	878,889円
収入合計		1,062,375円

支出の部	支部管理費	161,266円
	協会本部分	18,090円
	次期繰越金	883,019円
	支出合計	1,062,375円

「いわてのお米、とてもおいしい！」

JA全農いわて様には2010年より留学生のホストファミリーに支援米を提供いただいております。異文化交流への温かい応援に感謝申し上げます。



ウィズ・コロナからポスト・コロナへ One AFS 緊急募金ご協力のお願い

2020年3月、AFSは新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、長い活動の歴史の中で初めて、進行中のプログラムを全世界で一斉に中止しました。

この先、AFSの学びの場が失われることなく、異文化理解教育の活動が継続できるよう皆様のご支援をお願いいたします。

One AFS 緊急募金ページへ

<https://www.afs.or.jp/donate/postcorona/>
 クリックするとリンク先が開きます。